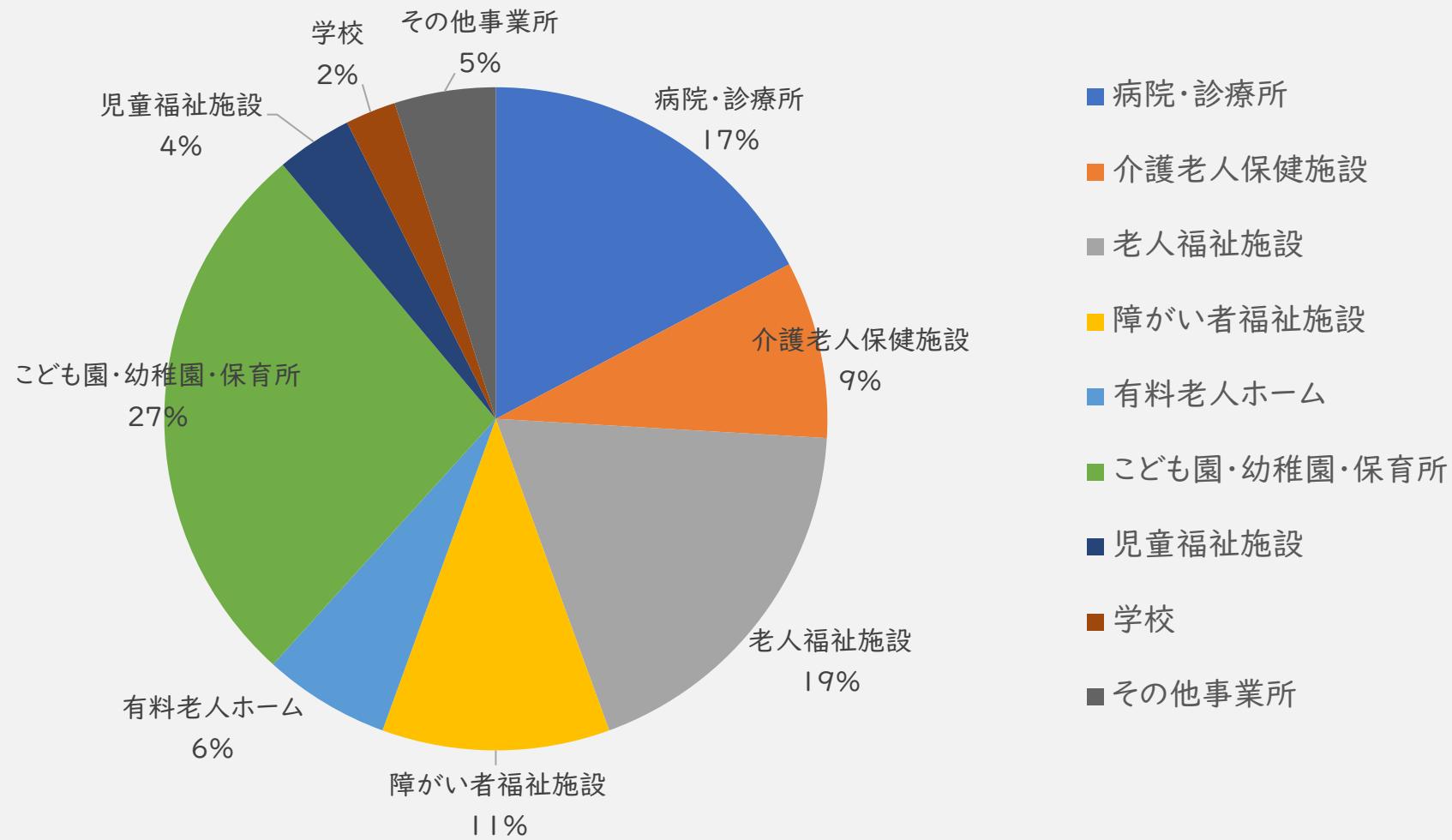
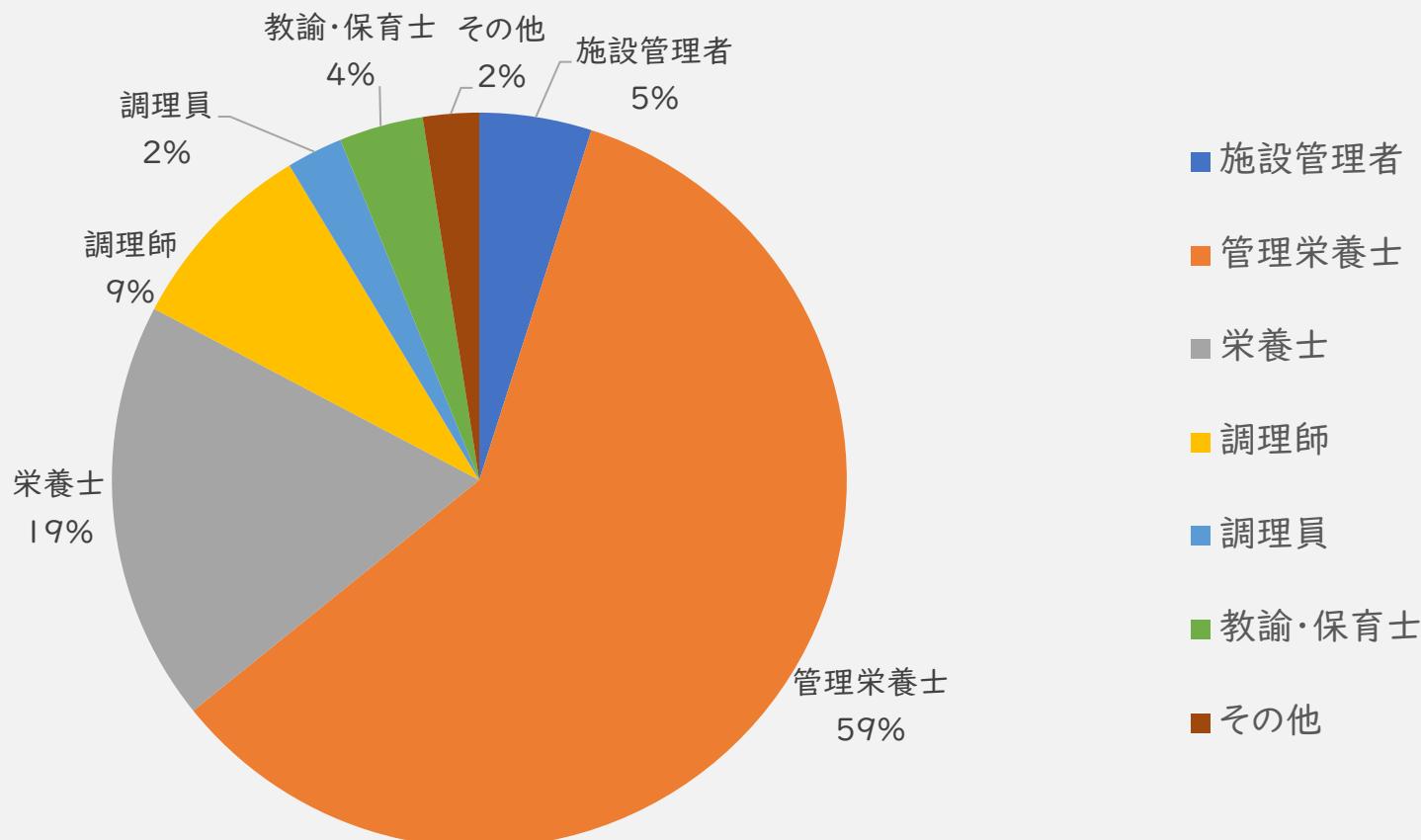


# 令和7年度特定給食施設等研修会 事後アンケート結果

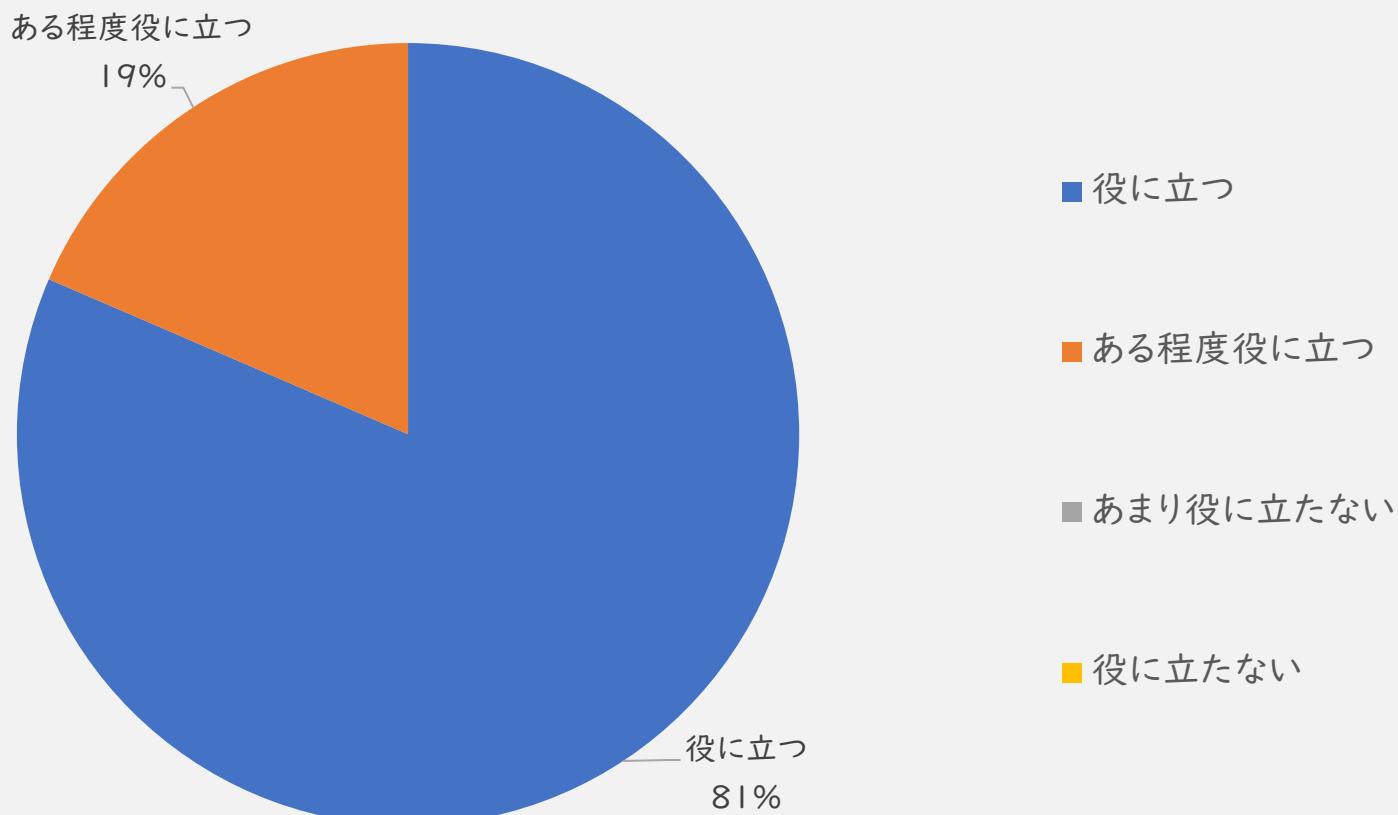
# Q1.施設種



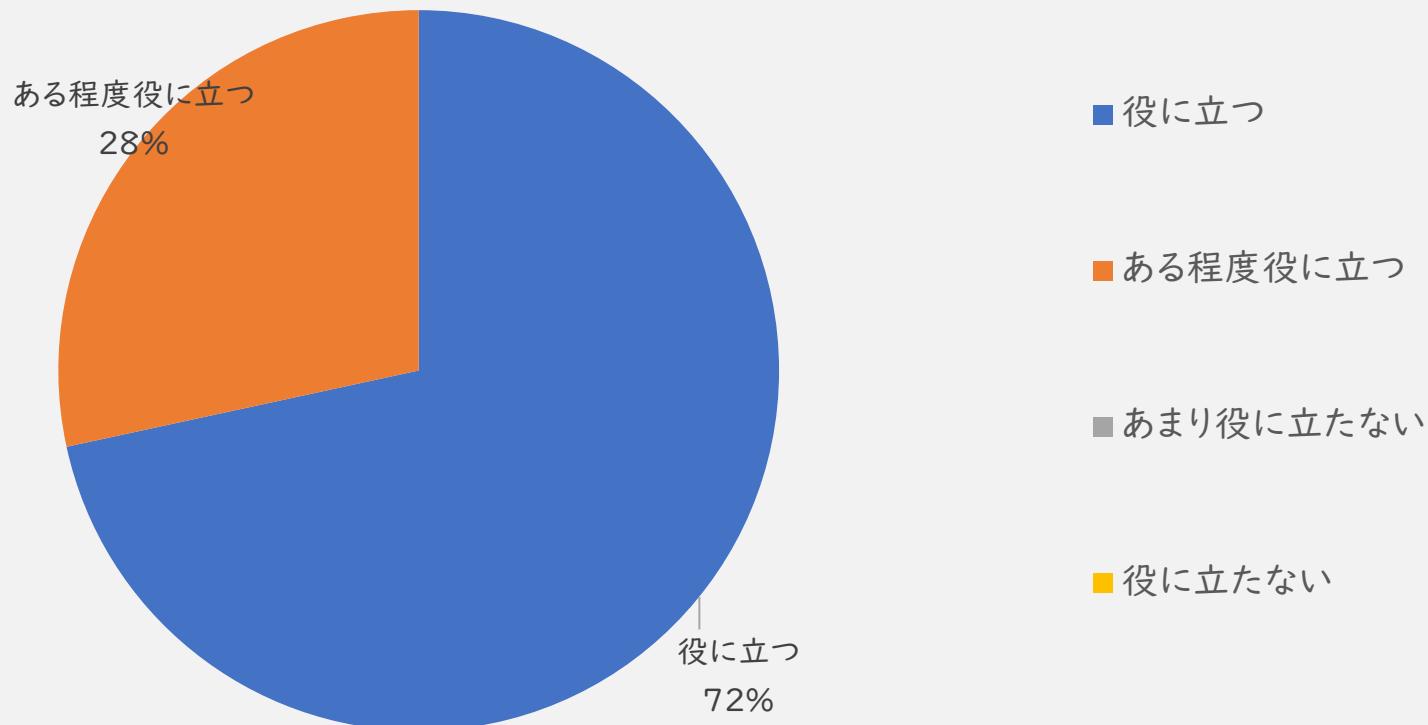
## Q2.職種



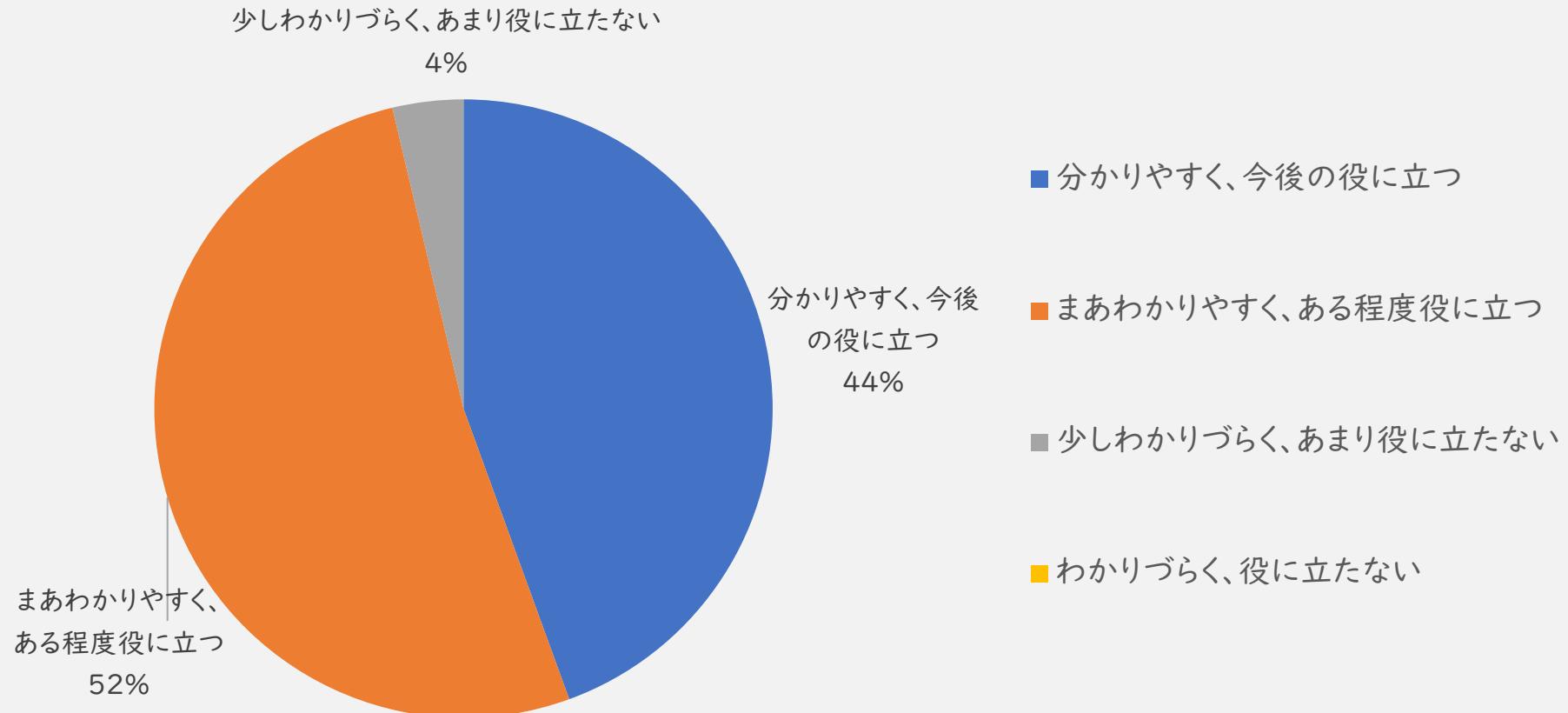
### Q3. 講義「災害時の保健医療福祉の支援体制と給食施設ができること」は今後の施設の災害対策に役に立ちますか



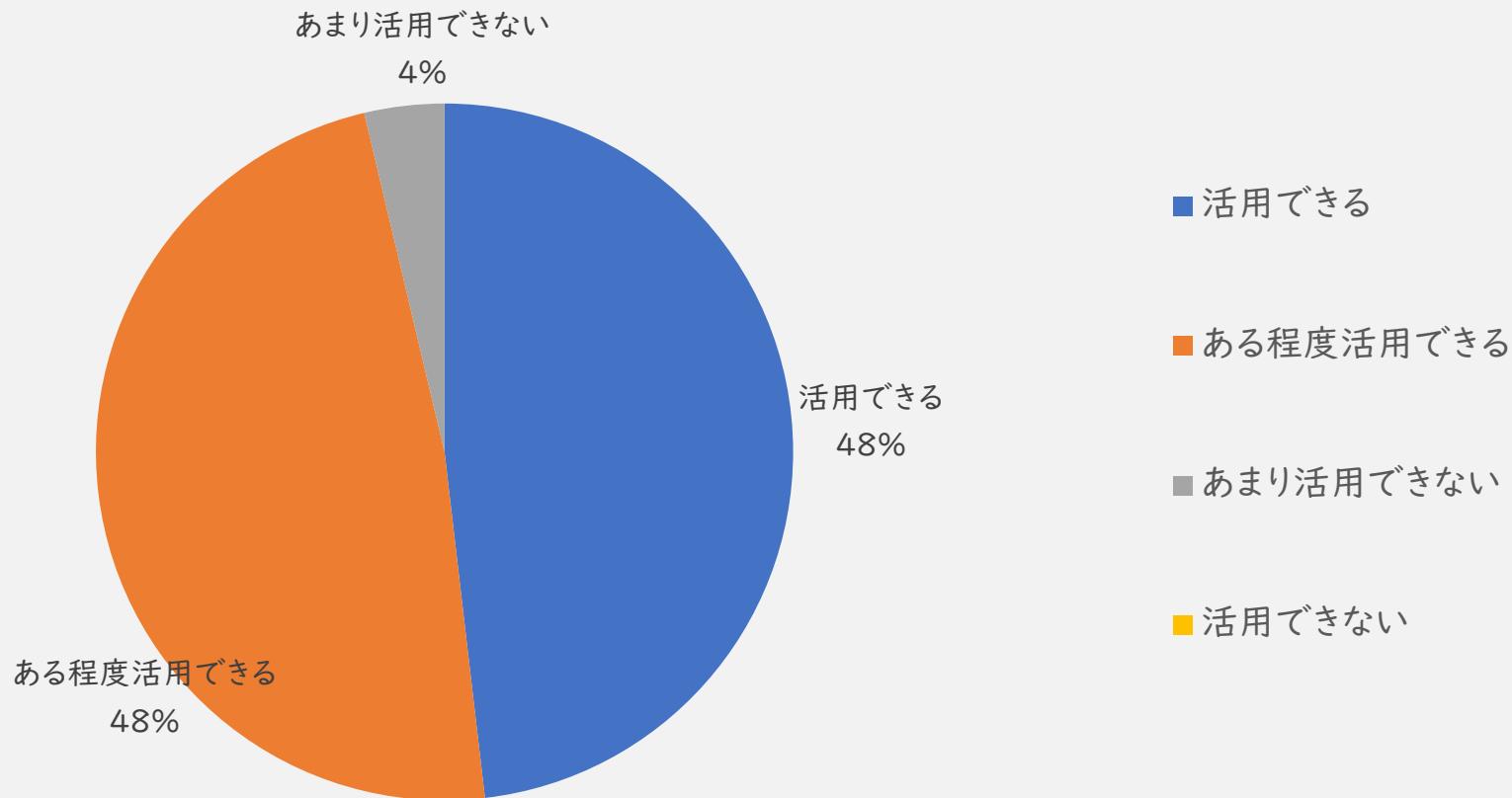
Q4. 講義「災害時の食中毒予防について」は  
今後の施設での衛生管理に役に立ちますか



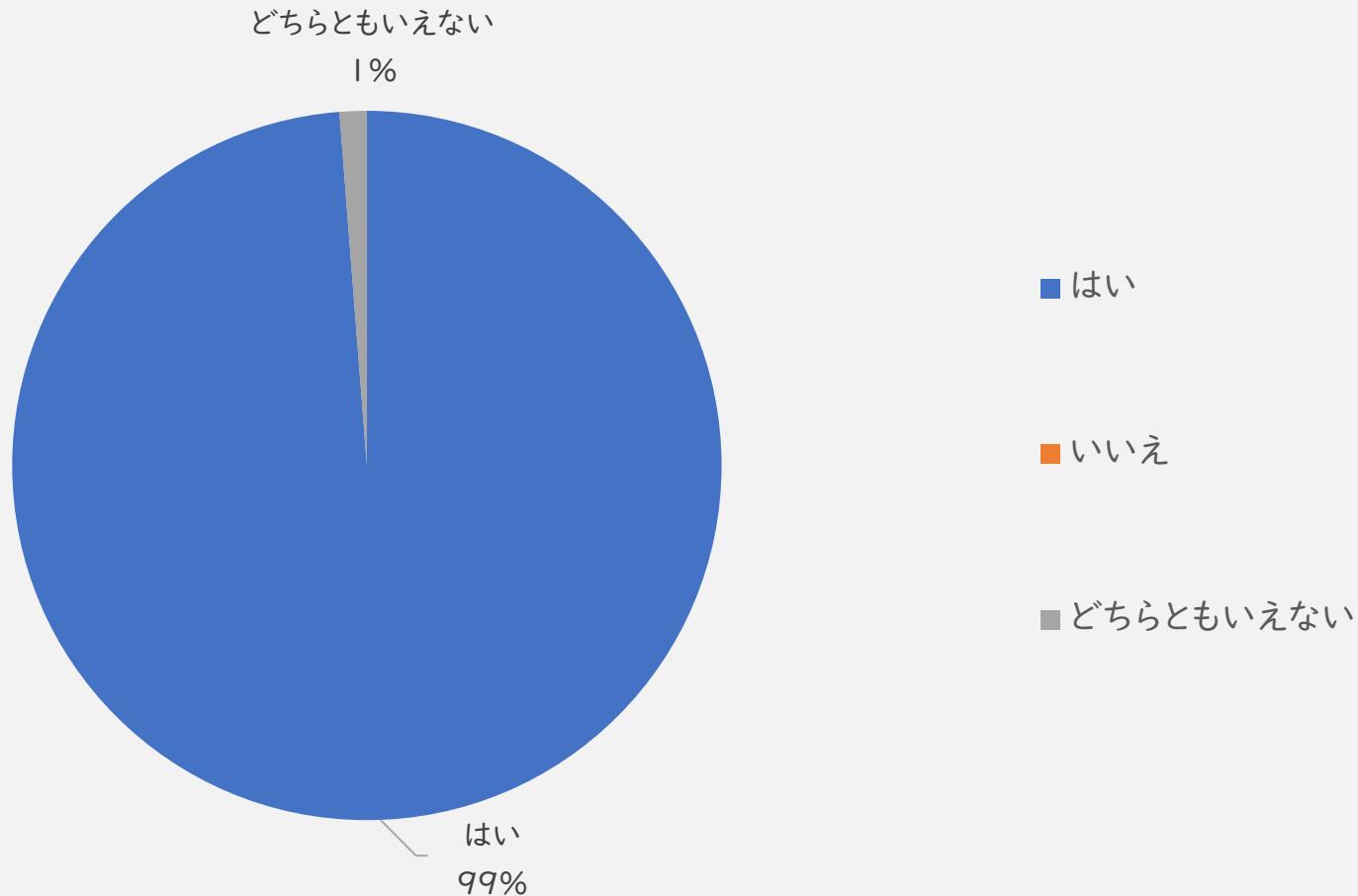
## Q5.事前アンケートの報告はわかりやすく、施設の今後の対策に役に立ちますか



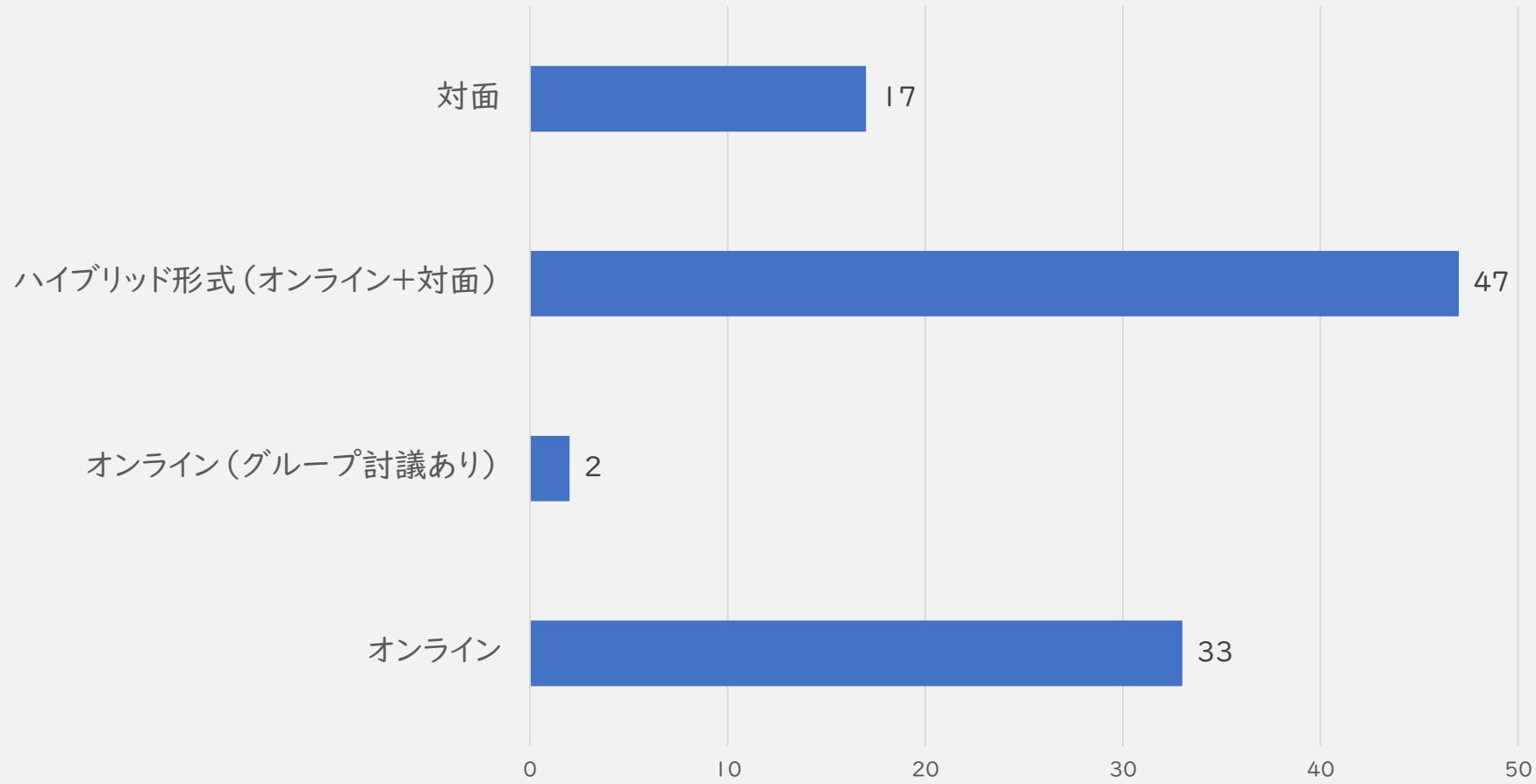
## Q6.施設の災害対策の見直しのために、 啓発チラシは活用できますか



## Q7. 今回の研修会全体を通して、 今後の役に立つ内容でしたか



Q8.今後、どのような開催形式の特定給食施設等研修会に参加したいと思いますか（複数回答可）



## Q9.Q8でそのように回答された理由を よろしければお聞かせください

オンライン	シフトに左右されず参加できる。
	管理栄養士だけでなく調理員にも参加してもらいたいから。
	限られた時間の中で、自分の参加できる場所を選ばないので。
	職員体制に余裕がないため、現地に伺う時間がかかるオンラインの方が出席しやすい。
	職場の体制によっては対面参加が難しいため。
	オンラインだと施設から出なくてよいので。
	移動時間を削減でき、参加しやすい。
	日常業務も多忙なため、オンラインの方が参加しやすい。
	配置が1名で仕事を抜けにくいためオンラインがよい。
	気軽に参加できて便利だったので。

## Q9.Q8でそのように回答された理由を よろしければお聞かせください

オンライン	移動時間がいらないため。
	他市でも業務をしているため、オンラインの方が助かる。
	なかなか仕事を離れられないでの。

ハイブリッド形式  オンライン + 対面	対面の方が質問等しやすいが、業務の都合で会場に足を運べない時にハイブリッド形式だと自分のスケジュールに合わせやすいので。
	職場を離れにくい状況の時はオンライン参加できるとよいので。対面のみだと欠席せざるを得ない場合がある。
	職場の体制によっては対面参加が難しいため。
	会場に行くのが難しい場合がある。
	職員数が少なく、現地開催に送り出せない可能性が高いためオンライン開催がありがたい。しかし、セミナーや研修会への参加経験のない職員には、会場の雰囲気を感じてもらうために対面も残してほしい。
保健所まで遠いのでオンラインがあった方がよい。	

## Q9.Q8でそのように回答された理由を よろしければお聞かせください

ハイブリッド形式  オンライン + 対面	参加しやすいので。
	日常業務も多忙なため、オンラインがあった方が参加しやすい。
	オンラインがあると時間的にも安心して業務ができる。
	施設の通信環境が不安定なため対面で参加したいから。
	会場に行くことが不可能な場合でも受講ができるので。
	対面とオンラインどちらか選ぶことができ、その時に応じた参加ができるから。
	オンラインか対面、どちらか選べると参加しやすい。対面だと今回は参加できなかったので。
	対面で出席できるときは対面出席したいため。
	対面だと会場までの移動時間が発生するため、業務の都合上オンラインがあると助かる。対面参加できる機会があればしたいので、ハイブリッド形式がよい。
	移動時間がなく、効率よく研修の受講ができる。

## Q9.Q8でそのように回答された理由を よろしければお聞かせください

ハイブリッド形式  オンライン + 対面	仕事の都合上、外出できない時があるため。
	オンラインと対面、どちらの形式にもメリットがあるため、ハイブリッド形式が一番理想的であるため。
	会場に行くのが難しいこともあるため。
	対面で学ぶ良さがもちろんあるが、勤務の都合上現地に行くことが難しいこともあるので、オンライン形式があると参加しやすいので。
	対面の方が講義内容が頭に入ってきやすいが、業務の兼ね合いで職場を離れられない時の選択肢としてオンラインがあるのがありがたい。
	対面での参加が難しい場合に、オンライン参加を選択できると参加しやすい。
	たくさん的人が参加できるので。
	基本的にオンラインが参加しやすい。
	どちらでも参加できるのがありがたい。

## Q9.Q8でそのように回答された理由を よろしければお聞かせください

ハイブリッド形式	内容によるので。
オンライン + 対面	研修参加への移動時間や準備時間が少なくて済み、有効活用できる。
	どちらでも参加ができるので。
オンライン グループ討議あり	グループ討議で他施設のことが聞けるとよいので。 各施設での工夫や意見を聞きたい。
対面	グループ討議で他施設のことが聞けるとよいので。 オンラインだと聞き取りにくい部分があったので。 対面の講義の方が、わかりやすく感じるため。 施設でオンラインで研修を受ける環境がないため。 各施設での工夫や意見を聞きたい。 オンライン対応ができない。 参加しやすいから。

## その他ご意見・自由記載の内容

マイクをONにしている参加者が3施設あり、雑音を拾っていたのが気になった。休憩に入る前にアナウンスがあったが、研修再開時にもOFFになっていなかった。名指しで注意をしていたら大きな会話音が演者の声を遮ることもなかったと思う。

今回は災害時の食事提供の具体的な方法や工夫についての内容がなかったので、そのあたりを学べると嬉しい。

災害時対応マニュアルを作成しているがその後の見直し方法について話が聞きたい。

今回の研修は多くの施設等が参加しており、主催者側からの注意事項が十分行き届いていないケースが散見された。講師が話している最中に参加者のPCのマイクがONになっており、会話や笑い声が講義の音声に入っていた。画面上で呼びかけても反応がない施設については電話など別手段で知らせないと気付かないままになり、ほかの受講者にとって不快である。

事前にミュートのお願いと設定方法を周知、当日は反応がない参加者へ電話等で個別に連絡できる体制を整えておくとよいと考える。

最初の守川先生の話について、深く掘り下げて時間をかけてほしかった。自施設も含め、BCPは策定している施設がほとんどであると思うが、実際行う（アクションカード）となるときちんとできる施設が少ないと思う。

現場の栄養管理担当者は他の施設のいろいろな工夫やケースを見たいと思うので、管理する立場の保健所目線で取り組みの紹介があると施設のBCPの質も上がっていくと思う。

## その他ご意見・自由記載の内容

非常に参考になった。

守川先生の講義であった「情報共有」の話はすぐに上司にも共有し、共感した。上司の不安材料であった災害時のネット環境についても解決していることも伝えた（衛星通信の利用）。できれば一緒に受けてもらえばよかったと思った。

災害はいつ起ころかわからないので準備しなくてはと思うが、なかなかきちんと出来ていないので少しずつ進めていこうと思う。

東日本大震災や能登半島地震の支援をされた守川先生のお話は貴重だった。アセスメントで「必要なものを必要なだけ届ける」のは本当に大事だと思った。

災害時の対応補法について理解を深めることができた。CSCAやEMISなど、今回初めて聞く言葉も多かったが、いずれも災害時においては大切だと感じた。災害対策を講じていても災害が起こった際に情報や物資が滞ってしまうないように、備蓄品の確認、他施設との連携が重要だと感じた。

守川先生の災害ボランティアのリアルな話を聞くことができ、非常に勉強になった。

災害時の話を聞けて良かった。

今回、給食関連だけでなく施設のBCPの更新や職員研修等にも役立つ有意義な内容だった。改めて国や自治体が災害時や被災時の対応について仕組みづくりをしてくれていることを理解した。

貴重な内容の研修だった。

## その他ご意見・自由記載の内容

マイクをオンにされている施設の声が気になった。不慣れな施設もあると思うので事前にわかりやすく案内してもらえたと思う。

学生さんのアンケート集計の中で、備蓄日数の集計があったが、各回答の施設種ごとの内訳が見れるともっとありがたかった。

今後災害時における対策をしっかり知っておき、備えておかないといけないと感じた。

学生さんの作成された事前アンケートにおいて、施設から委託されている立場としては、施設から共有されていないこともあるため、各設問に「わからない」という選択肢があると回答しやすい。

実際に運用している具体例を紹介してもらえると参考になる。

Zoomであればオンライン参加したかった。また開催の時刻が食事の時間と重なっていたため、午後開催など時間を配慮してもらえるとありがたい。

資料がモノクロでグラフが見にくかった（対面参加の方）。

最新の情報について研修してほしい。

知らないことも多くとても勉強になった。